

2016年9月28日

各位

会社名 第一三共株式会社
代表者 代表取締役社長 中山 讓治
(コード番号 4568 東証第1部)
問合せ先 常務執行役員コーポレートコミュニケーション部長 石田 憲昭
TEL 報道関係者の皆様 03-6225-1126
株式市場関係者の皆様 03-6225-1125

欧州臨床腫瘍学会（ESMO）での DS-8201a 第1相臨床試験結果の発表予定について

第一三共株式会社（本社：東京都中央区、以下「当社」）は、HER2に対する抗体薬物複合体（以下、「ADC」）*である DS-8201a の安全性と有効性を評価する第1相臨床試験の結果について、デンマークで開催される欧州臨床腫瘍学会（ESMO）にて2016年10月9日に発表します。

当社の先進的ADC技術が用いられた臨床データを紹介する初めての機会であり、今回、本試験結果の発表は、Late Breaking Sessionの演題として採択されました。

以上

*抗体薬物複合体（ADC）：抗体と低分子医薬を適切なリンカーを介して結合させた医薬群

第一三共のがん事業について

当社は、世界トップ水準のサイエンス（科学的知見、技術）を応用し、がん患者さんのための革新的な治療を提供していきます。

当社は、がん領域の開発パイプラインの拡充を進めており、現在、固形がんと血液がんの両領域で20以上の新規の低分子および抗体医薬を保有しています。第3相臨床試験中の開発品目には、FLT3-ITD 阻害剤キザルチニブ（目標適応：急性骨髄性白血病）、CSF-1R 阻害剤ペキシダルチニブ（目標適応：腱滑膜巨細胞腫、固形がんにおける抗PD-1抗体との併用試験（第1/2相）も実施中）、MET 阻害剤チバンチニブ（目標適応：肝細胞がん）等があります。